

3.11 東日本大震災を忘れない

「しながわ防災体験館」突撃！体験レポート

「しながわ防災体験館」は、2016年3月にリニューアルして体験内容が増えました。ここでは実際に体験することで、緊急時になにができるか？ 安全に対応し災害を少なくするために何をしたらいいか？ を考えるきっかけとなる体験施設です。

このレポートを読んだあなた！ 実際に体験しに行ってみませんか？



しながわ防災体験館のスタッフ（井東靖子さん）にご案内いただきました！



第二庁舎の入口に入って奥の階段を一つ下ります。

入館無料

しながわ防災体験館：品川区広町 2-1-36

開館時間：9：00～17：00

休館日：月曜、土曜、祝日・年末年始

お問い合わせ：03-5742-9098



【応急救護体験】 取材：八木下



AED=自動体外式除細動器の使い方を訓練用の人形を使って体験。いざというときに役立つ応急手当の方法も丁寧に教えていただきました。

要救護者を発見したら、意識の有無を確認し、大声で周りの人に知らせ119番通報する人、AEDを持ってくる人を指さして要請します。

救急車が来るまでの間、胸骨圧迫→AED→胸骨圧迫を繰り返していきます。写真のタイプのAEDはふたを開けることで電源が入り、自動音声にしたがって操作をし、心臓に電気ショックを与えます。



胸骨圧迫、AED装着体験

この体験をして、常日頃AEDの設置場所を確認しておくことも大切だと思いました。

【要配慮者避難誘導体験】 取材：萩原

高齢者や障がい者の方の避難誘導対応を学びました。車椅子に乗せる、押して移動する。災害時には避難路が瓦礫や液状化などで、まともな道ではないかもしれません。そうなりとより避難が困難になることを教えていただきました。災害時には「共助」の気持ちを忘れずに動ければと思いました。



←【車椅子移乗】
寝たきりの方を車椅子に乗せる基本的なやり方を実演していただきました。

【でこぼこ道】
→
実際に人に乗ってもらい車椅子を押してみました。改めて簡単ではないことを実感。



【初期消火体験】 取材：笹原

非常時に落ち着いて消火対応できるように、火事発見時の「火事だあ〜」の発声から、訓練用の消火栓を使って一連の消火対応を経験します。

消火栓と書かれた扉を開けホースを伸ばして、映像に映る火事の炎めがけ消火液を噴射します。（本物と同量の水を噴射）

一度も経験がなければ、実際に炎を目の前にしたら冷静には動けない気がしました。



中学生以上は消火栓、小学生以下は消火器を使った消火体験ができます。防火服を実際に着ることもでき、その重さを実感。

「しながわ防災体験館」では、模型やVR体験（一部年齢制限あり）など学べるものがいろいろあります。

災害は、地震だけでなく台風などでも起こりえます。その際には「まず自宅に待機」が呼びかけられています。備蓄しておきたい食品や簡易トイレは、最低一人あたり3日分（できれば7日分）…など改めて確認することもできました。

普段忘れがちな防災に改めて触れ、気づきや学びの多い時間となりました。ふらっと体験に行くこともできますので、皆さんも防災体験してきてくださいね！！



区で配布している防災ハンドブックにも防災のことが詳しく掲載されています。

【編集：野瀬・高木】